

日本の大気中のダイオキシン類濃度について

○諸外国におけるダイオキシン類濃度

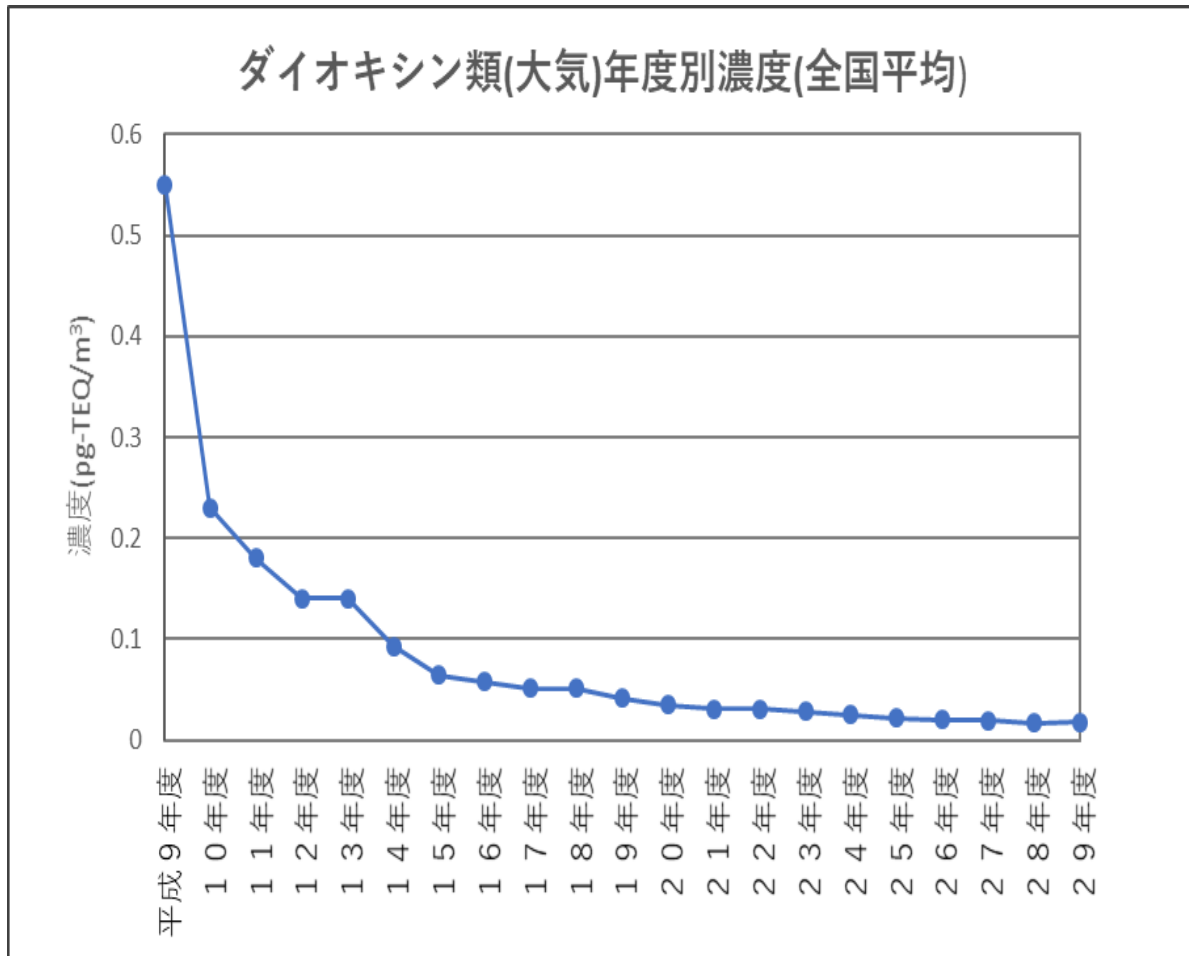
日本及び諸外国における大気環境中のダイオキシン類濃度

国	地域	濃度 (pg-TEQ/m ³)
日本	工業地帯近傍住宅地域	0.63 (0.01~2.6)
	大都市地域	0.37 (0.00~3.0)
	中小都市地域	0.20 (0.00~1.1)
	バックグラウンド地域	0.02 (0.00~0.11)
アメリカ	バックグラウンド地域	0.095
	都市地域	0.09
ドイツ	農村地域	0.025~0.070
	バックグラウンド地域	0.013
	郊外地域	0.09
	都市・工業地域	0.12
	発生源周辺	0.74
スウェーデン	農村地域	0.0044
	郊外地域	0.013
	都市地域	0.024
オランダ	農村地域	0.025 (0.010~0.040)
	未汚染郊外地域	0.015
	都市・工業地域	0.080
カナダ	農村地域	0.20 (0.030~0.91)
オーストラリア	発生源周辺	1.2

出典：「ダイオキシン排出抑制対策検討会報告の要約」平成9年（1997年）5月 環境省

平成12年のダイオキシン類対策特別措置法施行前においては、日本の大気中のダイオキシン類濃度は諸外国と比較して高いレベルであった。

○日本の大気中におけるダイオキシン類濃度の変遷



出典：平成29年度 ダイオキシン類に係る環境調査結果(環境省)

年度	濃度 (平均値)	備考
平成15年度(2003)	0.064 (pg-TEQ/m ³)	一般環境 測定地点数691箇所
平成29年度(2017)	0.018 (pg-TEQ/m ³)	一般環境 測定地点数481箇所

ダイオキシン類対策特別措置法施行後は、ダイオキシン類対策が進み、現時点(平成29年度)の日本の大気中のダイオキシン類濃度は0.018 (pg-TEQ/m³) であり、低減してきている。